

令和2年度使用小学校用教科書

選 定 資 料

特別の教科 道徳 編

令 和 元 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

道 徳

教科書選定の基本的な考え方

○ 学習指導要領の目標に一致していること

第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自ら高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現（「あいちの教育ビジョン2020」より）

教科書選定の観点・着眼点（道徳）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容	(1) 内容の選択 ア 児童の発達段階を考慮し、内容項目が四つの視点から関連的、発展的に配列され、分量や内容が適切に選択されているか。 イ 生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題や郷土の歴史や文化等を題材とした内容が適切に選択されているか。
	(2) 内容の程度 ア 児童の発達段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしい内容や表現になっているか。 イ 人間尊重の精神にかなうものであり、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容となっているか。 ウ 多面的・多角的な見方や考え方ができるような題材を取り扱い、見方や考え方に偏りのない内容となるよう配慮されているか。
	(3) 内容の構成 ア ねらいとする内容項目に関連するコラムや名言及び格言の系統・配列・分量は適切か。 イ 言語活動、及び問題解決的な学習や体験的な学習等の多様な学習に対応できるような内容構成となっているか。 ウ 振り返りの学習や評価に関わる内容が適切に設定されているか。
4 表記・表現及び使 用上の便宜等	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名等は適切であり、統一されているか。 イ 目次・注・写真・教材と内容項目との関連図・資料等が必要に応じて用意されているか。 ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連づけがされているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	教育基本法、学校教育法にのっとりた学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 考え、議論する問題解決的な学習や体験的な活動を取り入れ、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 1年間で学ぶ教材が、内容項目の四つの視点から分かりやすく整理され、各教科との関連等がひと目で分かるよう印で示されている。
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学習活動において中心になる発問が示されており、児童が自ら考えたり、仲間と多面的・多角的に考えたりできるよう編集されている。 発達段階に応じ、内容項目に対応した教材を取り上げ、計画的・発展的な学習につながるよう配置が工夫されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習の教材では、「考えよう」「深めよう」を通して、道徳的諸価値について見通しをもって学習が進められるよう配慮されている。 道徳的行為に関して体験的な学習ができる教材が掲載され、物事を多面的・多角的に捉えられるよう工夫されている。
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を三期に分け、まとめりに「学びの記録」を設けることで自分の学びや成長を見つめることができるよう考慮されている。 発達段階に応じた教材が選択され、多様な形式で掲載されており、児童の関心・意欲を高め、主体的に考えられるよう工夫されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> 学級生活や学校行事、他教科の学習等との関連が考慮されており、計画的・発展的な指導ができるよう編集されている。 児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、道徳的諸価値に対する理解を深めたりすることができるよう工夫されている。
208 光文	<ul style="list-style-type: none"> 各教材に「問い」「考える」「まとめる」「広げる」が示され、自分の体験と重ねて考え、学んだことを実生活に生かせるよう配慮されている。 身近で現代的な課題が教材として多く取り上げられ、自ら問題意識をもち、様々な視点から考えられるよう工夫されている。
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ道徳的諸価値を生かし、自己の生き方につなげていく指導ができるよう「学び方のページ」等が掲載されている。 生命の尊厳や現代的課題等の多様な教材を取り上げ、児童が主体的に取り組む、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。
232 廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> 本冊の「考えよう、話し合おう」では協働的な学びを具体的に示し、別冊ノートを活用することで自問や内省を促すよう構成されている。 学習の振り返りとして「学習を広げる」という視点が示され、深い学びを通して実生活に目が向けられるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育 の基本理念」に資する特色が見られるか。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班やグループで議論することで考えを深める学習活動が取り入れられ、自分のよさを社会に生かしていけるよう配慮されている。 ・ いじめに関わって、発達段階に応じた教材が取り上げられ、人としての在り方・生き方を考えることができるよう工夫されている。
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の尊さ等が取り上げられ、自他の命を大切にし、多様な人々の存在を尊重して生きることのできる人間を育てるよう配慮されている。 ・ 夢や希望をもって、よりよく生きる喜びを味わったり、豊かな心を育んだりすることができるよう、教材等の構成が工夫されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のことや周囲の人とのつながりに関わる補充教材を巻末に配置し、自らを高めることができるよう編集されている。 ・ 人の生き方を取り上げた教材を通して、個性を生かし、自分の責任を果たしながら、多様な社会で生き抜く人間を育てるよう工夫されている。
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活における問題の解決策を考えて伝えたり、他の意見を認めたりする学習に取り組むことで、自らを高められるよう工夫されている。 ・ 自己のよさを生かし、他を尊重して生活する大切さを学ぶ教材が取り上げられ、共に生きようとする心を育てるよう配慮されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」についての教材を取り上げ、一人の人間として多様な存在を尊重し、共に生きようとする心を育むよう工夫されている。 ・ 他国の生活や文化に関わる教材が取り上げられ、広い視野をもって国際社会で活躍することのできる人間を育てるよう工夫されている。
208 光文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のまとめとして、実際に道徳的行為を行い、そのよさや難しさ等を体験することで、自らを高めることができるよう配慮されている。 ・ 社会や学校での多様な奉仕活動の題材を取り上げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に貢献する態度を育てるよう工夫されている。
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分ならどうする」という発問が各教材に設けられ、自己の生き方に結び付けて考えることができるよう工夫されている。 ・ 発達段階に応じて命に関する教材を配列するなど、自他の命を大切にすることを育むことができるよう考慮されている。
232 廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別冊ノートの「心のしおり」では、児童を中心に学校と家庭を結ぶ配慮があり、生涯にわたって学び続けることができるよう工夫されている。 ・ 生命の尊さを学ぶ教材を2時間連続して配置してあり、多様な価値等をもつ人々の存在を尊重する心を育てるよう編集されている。

観 点	着 眼 点
3 内 容 (1) 内容の選択	ア 児童の発達の段階を考慮し、内容項目が四つの視点から関連的、発展的に配列され、分量や内容が適切に選択されているか。 イ 生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題や郷土の歴史や文化等を題材とした内容が適切に選択されているか。

○四つの視点の教材数

- ・ Aの視点…主として自分自身に関すること
 - ・ Bの視点…主として人との関わりに関すること
 - ・ Cの視点…主として集団や社会との関わりに関すること
 - ・ Dの視点…主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
- (注)・各教科書に示された1年34時間、他の学年35時間分の年間に扱う教材数

調査項目	Aの視点						Bの視点						Cの視点						Dの視点					
学年 発行者	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2 東書	10	10	9	9	8	8	9	8	8	8	7	7	9	10	11	11	12	12	6	7	7	7	8	8
11 学図	10	10	10	10	9	9	8	8	8	8	7	7	10	11	11	11	13	13	6	6	6	6	6	6
17 教出	9	9	10	9	8	12	7	8	9	9	6	6	11	10	12	12	13	11	7	8	4	5	8	6
38 光村	10	10	9	9	9	8	8	8	9	9	9	9	11	12	12	12	11	11	5	5	5	5	6	7
116 日文	10	11	10	9	8	9	8	8	9	8	8	8	11	11	11	12	13	12	5	5	5	6	6	6
208 光文	12	10	6	6	8	9	8	8	11	10	8	6	10	12	13	13	12	12	5	5	5	6	7	8
224 学研	11	12	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	11	11	9	9	6	6	6	6	8	8
232 廣あかつき	11	11	10	10	11	11	8	8	9	9	8	8	10	11	11	11	10	10	5	5	5	5	6	6

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	ア 読み物教材と関連した活動のページで構成されており、学習したことを振り返り、生活に生かせるよう効果的な配列になっている。 イ 生命の尊厳、いじめや情報化への対応等の現代的な課題について発達段階に応じた教材が適切に選択され、全学年で同数の配置がされている。 イ 学年を追うごとに各分野で活躍する人々の生き方から学ぶ教材を設定し、自分自身や社会との関わりについて考えられる工夫がされている。
11 学図	ア 学年を追うごとに社会的な視野を広げられるよう、主として集団や社会に関する内容項目の教材数を増やすなど、適切に編集されている。 イ 発達段階に応じて、スポーツ、生き方、伝統文化についての教材を「読み物コラム」として全学年共通に取り扱っている。 イ 様々な内容項目において、いじめを扱った教材を全学年で取り上げ、いじめに対する気付きや実感を積み上げるよう配慮されている。

17 教出	<p>ア 児童の発達段階に応じて、内容項目を明確に反映した教材を選択し、年間行事と関連させた指導ができるよう配列が工夫されている。</p> <p>イ 生命の尊厳を始め情報モラル等の現代的な課題等を取り上げ、児童の実生活に即した内容から考えられるよう配慮されている。</p> <p>イ 児童が興味をもって学べるように、愛知県と関連の深い人物、各分野で活躍した人物を取り上げた教材が選択されている。</p>
38 光村	<p>ア 内容項目間の関連を考慮するとともに、1年間を三つの時期に分けた指導内容を示すなど、児童の生活に生かせる配列になっている。</p> <p>イ 世界中で活躍する人々の生き方にふれる教材が取り上げられ、人の生き方から様々なことを学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>イ 全学年を通して、いじめ・情報モラル等に関する教材とコラムを組み合わせる「ユニット」を設定し、系統立てて学べるよう編集されている。</p>
116 日文	<p>ア 児童の発達段階を踏まえ、学級や学校での生活、他教科の学習内容や特別活動等との関連を考慮して、教材が配列されている。</p> <p>イ 全学年を通して現代的・社会的課題を扱う教材を複数配置し、それらを関連付けて扱うことで重点的に学べるよう工夫されている。</p> <p>イ 防災意識を高め、命の大切さや社会とのつながりを深く考えられるよう阪神・淡路大震災、東日本大震災等を扱った教材を取り上げている。</p>
208 光文	<p>ア 学級や学校生活等自分のこととして考えやすい教材や、人間としての生き方に迫る教材等、多様な内容が選択されている。</p> <p>イ 生命の尊重や現代的な課題のうち、情報モラルを全学年で設けることで、6年間を通してそれらの理解や考えを深める工夫がされている。</p> <p>イ スポーツに関する教材を全学年で取り上げ、生き方だけでなく国際理解等多様な道徳的諸価値にもつながるよう配慮されている。</p>
224 学研	<p>ア 幼児期の成長の過程や中学校への成長の見通しを踏まえ、内容の特性や重要度、複数時間扱い等を考慮した構成・配列になっている。</p> <p>イ 「いのちの教育」について重点的に学習することができるよう、各学年で生命の尊厳に関する教材を掲載するなど配慮されている。</p> <p>イ 各分野で活躍した日本人の功績を取り上げることによって、児童の学びたくなる気持ちを高めるような教材が選択されている。</p>
232 廣あかつき	<p>ア 各学年の発達段階を考慮し、児童が問題意識をもって多様に考え、話し合うことができる読み物教材等が選択されている。</p> <p>イ 生命の尊厳やいじめについて、先人の伝記や情報モラル等の内容と関連させた教材を掲載し、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>イ 親しみやすいスポーツを教材として取り上げることで、児童が興味・関心をもち、主体的に問題追究できる内容が選択されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (2) 内容の程度	<p>ア 児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしい内容や表現になっているか。</p> <p>イ 人間尊重の精神にかなうものであり、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられる内容となっているか。</p> <p>ウ 多面的・多角的な見方や考え方ができるような題材を取り扱い、見方や考え方に偏りのない内容となるよう配慮されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	<p>ア 各内容項目に、児童の身近な生活場面を取り上げた複数の教材を配置し、繰り返して指導を行うことができるよう工夫されている。</p> <p>イ 「『いじめ』をしない、許さない心」を育てるために、いじめを直接的、間接的に取り扱った教材で学習できるように編集されている。</p> <p>ウ 読み物教材で学んだ多面的・多角的な見方や考え方をより深めるために、人との関わりを促す「出会う・ふれ合う」コーナーを配置している。</p>
11 学図	<p>ア 各学年の発達段階に応じた教材を、「きづき」と「まなび」の二部構成とし、考え、議論することができる内容になっている。</p> <p>イ 様々な道徳的諸価値において「いじめ」と向き合える内容を取り上げることにより、他者のもつ価値観を尊重する態度が育めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 日本だけでなく世界各地、老若男女等の登場人物と出来事を取り扱い、多面的・多角的な見方や考え方ができる教材を選択している。</p>
17 教出	<p>ア 教材の中に、役割演技やモラルスキルトレーニングを取り入れ、発達段階に応じて道徳的実践力を育てられるよう構成されている。</p> <p>イ 人間としての弱さをもつ主人公の姿が描かれている教材が選択され、弱い自分を克服した喜びが一層浮き彫りになるよう工夫されている。</p> <p>ウ 児童が多様な意見をもって話し合える教材を取り扱い、多面的、多角的に考えることができるよう配慮されている。</p>
38 光村	<p>ア 各学年で特に身に付けてほしい道徳性を重点項目として設定し、身近な出来事や自分のこととして考えやすい教材を取り上げている。</p> <p>イ 全学年に、いじめの問題に結び付く教材とコラムを一組にして設定しており、いじめについて発展的に考えることができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 教材の冒頭に児童への問いかけを示すことによって、何を学ぶのかはっきり意識させ、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。</p>

116 日文	<p>ア 生活体験に即した教材や、身近な安全に関する教材が掲載されており、経験を基にそれぞれの考えを引き出すことができる内容になっている。</p> <p>イ 特設ページの「心のベンチ」に「いじめの四層構造」を掲載することで、いじめについて、より広く深く考えることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻頭に道徳の意義や学び方を提示することで、一つの考え方に偏らず多面的・多角的な見方や考え方ができるよう配慮されている。</p>
208 光文	<p>ア 導入で各学年に応じた問題意識をもたせ、終末で学習を振り返るポイントを提示し、自己の考えや心の変容が実感できる構成となっている。</p> <p>イ 全学年に、コラム「みんな仲よし楽しい学校」が設定されており、いじめの防止等に主体的に関わる態度が育めるよう配慮されている。</p> <p>ウ 各教材の下段に、考えを広げたり、深めたりする投げかけが配置されており、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう工夫されている。</p>
224 学研	<p>ア 発達段階に応じて、社会で広く活躍した人物の生き方を取り上げ、児童が自分の生き方を主体的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>イ いのちの教育を中心に、他を尊重したり、いじめを考えたりする教材を取り扱い、人としてよりよく生きることができるよう配慮されている。</p> <p>ウ 全学年で児童の多様な意見を引き出しやすいように、異なる意見等を提示して、多面的・多角的な見方や考え方ができるよう工夫されている。</p>
232 廣あかつき	<p>ア 読みもの教材を用いて話し合うことと、「道徳ノート」に自分の考えを書くことを相互に活用しながら、道徳的思考を深められるよう工夫されている。</p> <p>イ 発達段階を考慮して、悩みや葛藤、心の揺れ等、人間らしさを理解し、よりよく生きる喜びや勇気、感動を味わえる教材が効果的に編集されている。</p> <p>ウ 物語の結末を示さずその後の物語を考える構成や、葛藤場面では自分ならどうするかを考えることができるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (3) 内容の構成	ア ねらいとする内容項目に関連するコラムや名言及び格言の系統・配列・分量は適切か。 イ 言語活動、及び問題解決的な学習や体験的な学習等の多様な学習に対応できるような内容構成となっているか。 ウ 振り返りの学習や評価に関わる内容が適切に設定されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	ア 発達段階に応じて「つながる ひろがる」ページを提示し、内容項目に関する資料や他教科との関連を示すことで学びが深まるよう配慮されている。 イ 自分の考えを書いたり、友達と話したりする活動を取り入れ、言語活動を充実させるために、「出会う・ふれ合う」ページが設定されている。 イ 中高学年では、「問題を見つけて考える」ページを設定することで、問題意識を高め、問題解決的な学習に対応できる構成になっている。 ウ 巻末に「学習のふり返し」が設けられており、自身の成長や学びの深まりを実感することができるように工夫されている。
11 学図	ア ねらいに関連した「コラム」が掲載され、様々な視点から道徳的諸価値について考え、学びを深められるよう工夫されている。 イ 課題意識をもち言語活動や体験的な学習を行うため、じっくり考える本冊「きづき」と学びを深める活動を促す別冊「まなび」の2分冊となっている。 イ 言語活動や体験的な学習を促すために、別冊「まなび」に発問マークがあり、教材に合った多様な学びができる構成になっている。 ウ 教材ごとに内容項目に合った振り返りの場面が設定され、自らを見つめ直し、自身の見方や考え方を広げられる内容となっている。
17 教出	ア 高学年では内容項目のねらいに即したコラムを教材の前頁に配置し、道徳的諸価値の理解を深められるよう配慮されている。 イ 冒頭に学習を進める上での視点を示し、道徳的諸価値に迫るための「考えよう」「深めよう」を設け、問題解決的な展開ができる構成になっている。 イ 「スキル」「やってみよう」の設定により、モラルスキルトレーニングや役割演技等、道徳的諸価値の理解を深めるよう工夫されている。 ウ 巻末の1年間の振り返りのページに、先生や家の人からの一言欄を設け、自分自身の成長や、今後の生き方について考えられるよう編集されている。

38 光村	<p>ア 教材で扱った内容と関連するコラムを組み合わせた「ユニット」が設定されており、発展的に学ぶことができるよう考慮されている。</p> <p>イ 教材の最後に「考えよう・話し合おう」を設け、めあてを確認し、めあてについての問いに沿って考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>イ 話し合ったり、書いたりする言語活動や、体験して考える役割演技等が位置付けられおり、児童が主体的に取り組める構成になっている。</p> <p>ウ 1年間を三つに分けて、それぞれ「学びの記録」のページを設け、自分の考えの変化や成長を振り返ることができるよう配慮されている。</p>
116 日文	<p>ア 教材と関連した「心のベンチ」を掲載し、ねらいとする内容項目についてより広く深く考えることができるよう工夫されている。</p> <p>イ 巻頭に「道徳の学び方」を掲載し、道徳の学習内容や学習の流れが分かるようになっており、主体的、対話的な学習ができる構成となっている。</p> <p>イ 各学年に「学習の手引き」のページが提示され、問題解決的な学習や体験的な学習等多様な学習が展開できるよう配慮されている。</p> <p>ウ 別冊「道徳ノート」に振り返りや保護者記入欄を設けることで、自分の成長を感じさせ、肯定的な自己評価につながるよう工夫されている。</p>
208 光文	<p>ア 各教材とことわざや名言とを関連させて掲載することで、道徳的諸価値について深く理解し、ねらいに迫る学習ができるよう編集されている。</p> <p>イ 体験的な活動を促すページ「みんなでやってみよう！」が全学年に配列されており、人間関係を豊かにできるよう工夫されている。</p> <p>イ 教材下段に児童に課題や問いを投げかける資料が取り入れられており、問題解決的な展開ができるよう考慮されている。</p> <p>ウ 巻末に「まなびの足あと」が設定されており、児童が授業の内容を振り返り、自分の成長を自覚できるよう工夫されている。</p>
224 学研	<p>ア ねらいとする内容項目の学びを深めることができるように、学習に関連した資料や名言等が効果的に配置されている。</p> <p>イ ロールプレイ等を取り入れる「やってみよう」のページを設けることで、主体的な学びや体験的な学びができるよう工夫されている。</p> <p>イ 学習したことを自分の生活や生き方につなげて考える「つなげよう」「広げよう」のページを設け、深い学びができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末に「心の宝物」を設け、1年間の学習で学んだことを書き記し、自分自身の成長を実感できるよう配慮されている。</p>
232 廣あかつき	<p>ア 内容項目に関するコラムや名言・格言が取り上げられており、教材に応じて児童が興味をもつことができるよう工夫されている。</p> <p>イ 教材ごとに「考えよう 話し合おう」を設定し、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組むことで、深い学びができるよう配慮されている。</p> <p>イ 教材に応じて「学習を広げる」を設定し、人物や本の紹介、役割演技等を取り入れ、主体的・対話的な学びを促す内容構成となっている。</p> <p>ウ 別冊「道徳ノート」を活用し、児童が教師や保護者とともに自分の考えの変容に気付くことで、自己の成長を実感できるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 漢字・仮名遣い・記号・用語・人名・地名・国名等は適切であり、統一されているか。</p> <p>イ 目次・注・写真・教材と内容項目との関連図・資料等が必要に応じて用意されているか。</p> <p>ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。</p> <p>エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等に適切な関連づけがされているか。</p>

調査項目 発行者	ア 漢字・仮名遣い・記号・用語等	イ 写真・教材等と内容項目の関連図・資料等	ウ 適切な表記・表現	エ 挿絵・イラスト・写真・図表等
2 東書	適	適	適	適
11 学図	適	適	適	適
17 教出	適	適	適	適
38 光村	適	適	適	適
116 日文	適	適	適	適
208 光文	適	適	適	適
224 学研	適	適	適	適
232 廣あかつき	適	適	適	適

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	イ 巻頭、巻末が見開きページになっており、児童の興味を引くよう、写真や日本の伝統文化等を伝える資料等が掲載されている。
11 学図	エ 挿絵、イラスト、写真等は本文と適切な関連付けがなされるとともに、道徳的諸価値の理解を助けるよう効果的に配置されている。
17 教出	エ 掲載されている写真には、教材の理解を補助する説明文が加えられており、児童が内容を理解しやすいよう工夫されている。
38 光村	イ 各学年の巻末に、人とのよりよい関係を築くための「こつ」を具体的に示し、人と関わるよさを体験できるよう工夫されている。
116 日文	イ 別冊「道徳ノート」に、毎時間同じ構成で学習の記録を残すことができ、児童が常に成長を実感できるよう配慮されている。
208 光文	イ 各学年の巻頭に、道徳で学ぶ内容や本の使い方を絵や言葉で紹介するページを設け、目的意識をもって主体的に学習できるよう工夫されている。
224 学研	エ 実在する人物や場所には写真を使用し、その量・大きさともに適切に配置され、児童が場面や様子、心情を想像しやすいよう工夫されている。
232 廣あかつき	イ 本冊に関連する別冊ノートのページ数を示すとともに、内容項目がマークで視覚的に判別できるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等はどうか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

調査項目 発行者	ア 印刷の鮮明度、文 字の大きさ、色彩等	イ ユニバーサルデ ザイン化	ウ 造本の堅ろうさや 体裁
2 東書	適	適	適
11 学図	適	適	適
17 教出	適	適	適
38 光村	適	適	適
116 日文	適	適	適
208 光文	適	適	適
224 学研	適	適	適
232 廣あかつき	適	適	適

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東書	ア 発達段階に応じて、文字の大きさや行間を広くとり、色彩等を工夫するなど、読みやすさを考慮した適切なものとなっている。
11 学図	ウ 全学年で本冊「きづき」、別冊「まなび」の2分冊構成になっており、別冊は書くのに適した用紙を用い、開きやすいように製本されている。
17 教出	イ 読みやすくゆったりしたレイアウトにするためにA B判を採用し、読みやすい配色やフォントを使用するなど配慮されている。
38 光村	ア 小学生の手に持ちやすいB 5判で一冊にまとめられており、軽くて裏写りしにくいオフホワイト色の用紙を使用し、目や環境に配慮されている。
116 日文	ア 児童の興味・関心を引きつける写真を効果的に掲載するためにA B判を採用し、記入用の別冊ノートが本冊に収まるように工夫されている。
208 光文	ア 児童の興味・関心や思考が深まるよう写真やイラストが引き立つA 4変型判にしており、用紙の厚みを抑えることで軽量化を図っている。
224 学研	ア A 4判にすることで文字や写真を視覚的に捉えやすく大きく掲載し、児童の興味・関心を高める紙面づくりに配慮されている。
232 廣あかつき	ウ 別冊ノートが本冊の巻末にきちんと収まるように、本冊の背表紙の強度を高め、取扱いやすいよう配慮されている。

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく 2、3、4 新訂 新しい道徳 5、6
11 学図	学校図書株式会社	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん きづき かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん まなび かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 きづき かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 まなび かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 きづき かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 まなび かがやけみらい 小学校 道徳 4年 きづき かがやけみらい 小学校 道徳 4年 まなび かがやけみらい 小学校 道徳 5年 きづき かがやけみらい 小学校 道徳 5年 まなび かがやけみらい 小学校 道徳 6年 きづき かがやけみらい 小学校 道徳 6年 まなび
17 教出	教育出版株式会社	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2、3 はばたこう明日へ 小学道徳4、5、6 はばたこう明日へ
38 光村	光村図書出版株式会社	どうとく 1、2、3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4、5、6 きみが いちばん ひかるとき
116 日文	日本文教出版株式会社	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとく ノート 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4、5、6 小学道徳 生きる力 4、5、6 道徳ノート
208 光文	株式会社光文書院	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年、4年 小学道徳 ゆたかな心 5年、6年
224 学研	株式会社学研教育みらい	新 みんなのどうとく1ねん、2年、3年 新 みんなの道徳4年、5年、6年
232 廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社	みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせい のどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく3 自分を見つめ、考える どうとくノート3 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳4、5、6 自分を見つめ、考える 道徳ノート4、5、6